

地域文化の発展に新風を

『都留歌謡連盟』

都留歌謡連盟は、昭和六十三年八月に歌謡と舞踊の愛好者によって結成され、平成元年四月に、都留市文化協会へ加盟しました。

当初、歌謡は新しい市民文化的な流れとして、カラオケで歌うことだけが目的でしたが、舞踊の愛好者と組むことによって、互いにより高い接点を求めて勉強しあい、年一回の合同発表会も行うことができました。発足から現在まで十二年になりますが、その間、都留歌謡連盟主催の



第12回都留歌謡連盟チャリティ歌謡祭の様子

チャリティ歌謡祭も今年で十二回を数え、文化祭行事の一環として、うぐいすホールで盛大に開催され、(昨年は十月三十一日)その都度ささやかですが、チャリティ寄付も行ってきました。現在、会員数は六十一名、都留市内ばかりでなく道志、大月、富士吉田地区からの会員で構成され、八朔イン・つるや各地のイベントにも積極的に参加し、会員相互の親睦はもとより、各地の歌謡愛好者との交流も広がっています。

今後、新しい会員の入会へのアプローチも積極的に進め、その意味でも二カ月に一度行っている交流会を勉強会の意味も含めて毎月でもよいのではないかと考えています。市民に密着した活動をさらに進め、地域文化の発展に少しでも貢献できたらと望んでいます。

都留歌謡連盟のお仲間になりませんか。入会をお待ちしています。

問合せ 志村 晴雄

☎(43) 3492

生涯学習通信 生涯学習推進会議普及・啓発部会

のびのび いざいざ 生涯学習

生涯学習グループの紹介

現在、都留市内において各種団体に所属し、活動している学習グループや自主的に学習しているグループを紹介します。



社交ダンスへのご招待

『社交ダンス』

文化協会にダンス部として、加入四年目を迎えました。思い出すのは終戦間もない、昭和二十年代の初めにダンスが非常に盛んな時期がありました。皆で競ってダンス教室に通いました。

現在、文化協会の中のダンス部は、三つのサークルに分かれて活動しています。私たちが定期的にに行っている練習は、日本社交舞踊師協会の正規の資格を持った講師によって、社交ダンスのもつ優雅さを表現する「モダンダンス」、美しく活動的な「ラテンダンス」の基本的なフィガーの習得を行っています。練習の場として、都留市文化会館、県立富士女性センターを使っています。他のフリーのサークルの活動も活発です。このような社交ダンスの輪を広げるために、充実した施設が欲しいと思います。

社交ダンスは、文化活動を活発にするための発火点ではないかと思えます。そのことは生涯学習の充実にも、大きく貢献できるものと思えます。さらに、高齢者、若者を含む男女の交流の場として、社交ダンスのもつ雰囲気は、広く一般市民が参加できる最適の場と思います。

都留市を発展させ、市街地の活性化を促すため、人々が親しく交流できる場として、社交ダンスの持つ意義は大きいと思います。

社交ダンスは、男女のペアで行うものです。現在までの実践経過に照らし、ペアで募集した方が効果的ではないかと考えます。どうか市民の皆様、社交ダンスの持つ意義を再認識されて、募集の際は多くの人的ご応募をいただき、楽しくダンスの輪を広げていきたいと思います。

問合せ 中村 武司

☎(43) 8345

